

ハ工場閉鎖ヲ為サザルコト 但シ第一工場ヲ閉鎖スル場合ハ會社ハ
 従業員ニ対シテ誠意アル考慮ヲ為ス
 〇従業員ハ會社ノ隆盛ニ因リ協同一致努力スルコト
 右及申(通)報ス也

勞務第一六一六號

昭和九年七月十九日

事務主任

内務大臣 後藤 文夫 殿
 社會 局長 官 殿

笹本製糸工場ノ勞働爭議ニ関

一 女工 永井ヤン外 名ハ本月外 月外 惣計 期間ヨリ 予分 違新レ工場 主ヨリ 賠償セラレタル 女工 同(三四)ハ
 兩人ニ 同情シ 外 出時間 延長 等 願望 推否セラレ

要旨

一 女工 側ハ 工場 主ノ 態度 遺憾 全員 退職 気勢 示シタル 故テ 工場 主ハ 狼狽 事業 主任 谷崎 治三 鎮撫 方
 依頼セリ
 一 谷崎 事業 主任 女工 側ノ 希望 要求 等 七 件 使用 時間 延長 等 三 件 解決 行ヒタル 午後 九時 延長 セラレシ 外 四 項 五
 件 待遇 改善 事項 要求 ンダリ 工場 主ハ 之ヲ 承認 解決 セリ

待遇改善問題ニ發端シ 標記工場ニ勞働爭議發生セルニ 事業 主任

警視總監 藤 沼 平

發生 七(六) 解決 七(八)
 使用 勞働者 四(二) 女 三(六)
 爭議 参加者 五(三) 六
 關係 勞働 組合 發生 解決

9. 7. 31
 5783

